

教育・保育理念

・自分も友だちも大切に作る心の育成・学びの芽の育成・自分の可能性や能力の発揮

園のスローガン

「わたしもだいじ あなたもだいじ みーんなだいじ ～子どもも大人も仲間と共に育ち合おう～」

令和5年度重点目標

- ・愛されていると感じ、自尊感情を育む
- ・好奇心をもって意欲的に遊びを楽しみ、遊びを通して学ぶ
- ・こども園、幼稚園、小学校が連携し、学びと育ちをつなぐ
- ・地域とのつながりをより一層深める

重点目標	重点目標に向けた具体策	評価項目	自己評価	こども園関係者評価
教育・保育内容	育児担当制を実施する。乳児担当者研修を行い、乳児の担当制について学ぶ。 自尊感情を育てるために異年齢交流を行う。	大人との愛着関係や安心感のもと、人を信頼し生きていく力の土台を形成する	A	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性については今後の教育の場でしっかり子どもたちに伝える必要のある項目です。園児のうちから指導されていることに驚きました。 ・先生方のご苦労を思うと頭の下がる思いです。 ・個性を尊重してくれ受け入れてくれ子どもたちの自信につながっています。
		園児の表情や行動を温かく見守りながら、思いを受け止め自尊感情を育てる	A	
		様々な経験を通して、協調性や思いやりの気持ちを育てる	B	
		園の様々な人との交流を通して、自己を発揮したり、認められる経験をする	A	
		お互いのことを認め合い、共に育ちあう仲間づくりを行う(国籍・ジェンダー・障害等)	A	
教育・保育内容	子どもたちが意欲的に遊びを楽しみ遊びを通して学ぶための、年齢にあった環境整備や教材研究を行う。特に描画については園内研修で学びを深める。 発達をおさえた「学びのシート」を作成する。 公開保育を行い、環境整備や活動について学ぶ。	自然とのふれあいや実体験を大切に、生活や遊びの中での学びを保障する	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味・関心を基本として、様々な経験を準備したり、主体的に子どもたちが動く姿は感動します。 ・子どもの苦手な野菜も自分たちで育てた野菜は食べられるようになったり、家でできない自然とのふれあいもよい体験だと思えます。
		園児の意欲や探求心などを引き出す、保育教諭の関わりを大切にする	A	
		園児の興味・関心に基づき教材準備を行い、園児が主体となり自ら関わる環境を整える	A	
		あそびの中で思考力や集中力を養い、成功体験や失敗体験からの学びを大切にする	B	
		生活やあそびの中で体づくりを意識した活動を展開する	A	
小学校との連携	行事や散歩などを通して小学校へ行ったり、体験学習や委員会活動など小中学生を受け入れたりして子ども同士の交流を促す。 小学校の授業を見学し小中学校教育への理解を深める。 園の公開保育、就学相談等の機会に職員間で交流を図る。	小学校児童と年長児との交流や体験学習の受け入れ、小学校への散歩等意識して交流する	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中でできることを手探りで行って行っていました。小学校とも協力しながら連携してほしいです。 ・小学校見学は園児たちが就学への関心を持てるので今後も取り入れてほしいです。 ・小学校との連携を深め、就学前教育を強化してほしいです。
		授業見学、地域の会議等の連携を通じて小学校の教育について学び、理解を深める	A	
		乳幼児期に育てたい力が小学校以降の学びにつながるような指導計画を作成し実践する。	B	
		公開保育を行い、園の教育・保育について意見交流を行い、接続期の教育・保育の質の向上につなげる	B	
地域との連携	地域行事へ職員や子どもが参加する。 こども園行事へ地域の方を招待する。 地域子育て支援の取り組みをする。	地域の行事に職員や子どもが参加し、地域に園の教育・保育を発信する	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携が難しい昨今ですが積極的に実行されているという印象です。 ・次年度は子育てサロン「かるがも」でコロナ感染以前のようにミニコンサートをお願いします。
		園の行事を通して地域の方と交流し、豊かな人との関わりを行う	A	
		地域の関係機関や団体等と連携、協力を図り、適切な子育て支援を行う	A	
		園の機能を発揮し、職員が地域子育て支援に関わり、遊びや情報を提供する	A	
職員の上をめざす	公開保育・園内研修で実践検討等を行い教育・保育を学びあう。 学びのシートの作成を通して、5領域と10の力を意識した教育・保育を学ぶ。	互いの実践から学びあい、園の教育・保育について意見交流し、園の教育・保育の質の向上を図る	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研修は学校運営の基本だと考えます。実行性のある研修で子どもたちの学びにつなげてください。 ・自己評価に同意です。
		職員同士の交流や情報交換を円滑におこない、園児の学びと育ちをつなげていく	A	
		5領域と10の力を意識した教育・保育を学びあい、計画・実践し、教育・質の向上を図る	B	

今後の取り組むべき課題

* 評価について A…達成している B…おおむね達成している C…取り組みが不十分である

課題	具体的な取組方法
異年齢交流の充実	コロナ禍前での取り組みやコロナ禍で工夫してよかったことも取り入れながら、1つ1つねらいや目標を確認しながら無理のない異年齢での交流を考える
園児が主体的に学ぶ教育・保育の実践	引き続き園内研修で「環境づくり」「自然あそび」のテーマでグループごとに実践を出し合い、園児が主体的に遊べる環境や教材の工夫を学ぶ

園長より
職員間での話し合いを大切に教育・保育の工夫をしながら園の特色でもある自然をテーマに豊かな経験ができるよう教材研究や環境づくりをしてきました。今後も更に子どもたちの可能性を引き出す教育・保育をすすめていきたいと思えます。ありがとうございました。